

GraphWeaver 変更履歴

Ver1.10

【新規追加】

- ・グラフ種別「棒グラフ」に対応
- ・象限種別 **Quadrant** 列挙子を追加し、描画象限設定メソッドを追加
- ・各軸情報、点情報、棒情報の設定クラスを追加し、詳細属性を追加
- ・各軸情報、点情報、棒情報属性を一括登録するメソッドを追加
- ・系列のサポート追加（データ指定）
- ・共通エラーID(**Sakura.GW.Lib.ErrorID**)を追加
- ・Visio 外部要因終了判定をライブラリで行えるよう、コールバック用の変数 **VisioClosedFuncs** を管理マネージャに追加
- ・色インデックス列挙体に以下の属性を追加
 - **Transparence**
 - **Brown**
 - **Cyan**
 - **Magenta**
- ・実行コマンド種別に下記コマンドを追加
 - **drawErase**
 - **drawGraph**
 - **redrawGraph**
 - **deleteGraph**
 - **drawPoint**
 - **deletePoint**
 - **redrawGraphPoint**
- ・描画速度向上のため、新描画処理を実装
- ・各種ヘルプ、ドキュメントの追加

【変更】

- ・ 名前空間の接頭語を変更

Sakura.～ → Sakura.**GW**.～

- ・ 実行コマンド種別 drawGraph を **drawGraphAll** に変更
- ・ 各軸情報、点情報、棒情報属性の設定メソッド引数に詳細設定分を追加
(使用は非推奨)
- ・ 処理終了時コールバック関数型の引数を bool から ErroID 型に変更
- ・ createDocument メソッド引数から docName を削除
- ・ takeoverDocument メソッド引数の一部を ref から out に変更
- ・ 内部クラスの隠蔽化
- ・ 内部エラー処理の強化

Ver1.00

新規作成